

Paris Report

February 2026

CONTENTS

- * Project 1: La Venelle – Village du Réemploi Solidaire
- * Project 2: Loewe Casa Montaigne

1. La Venelle – Village du Réemploi Solidaire

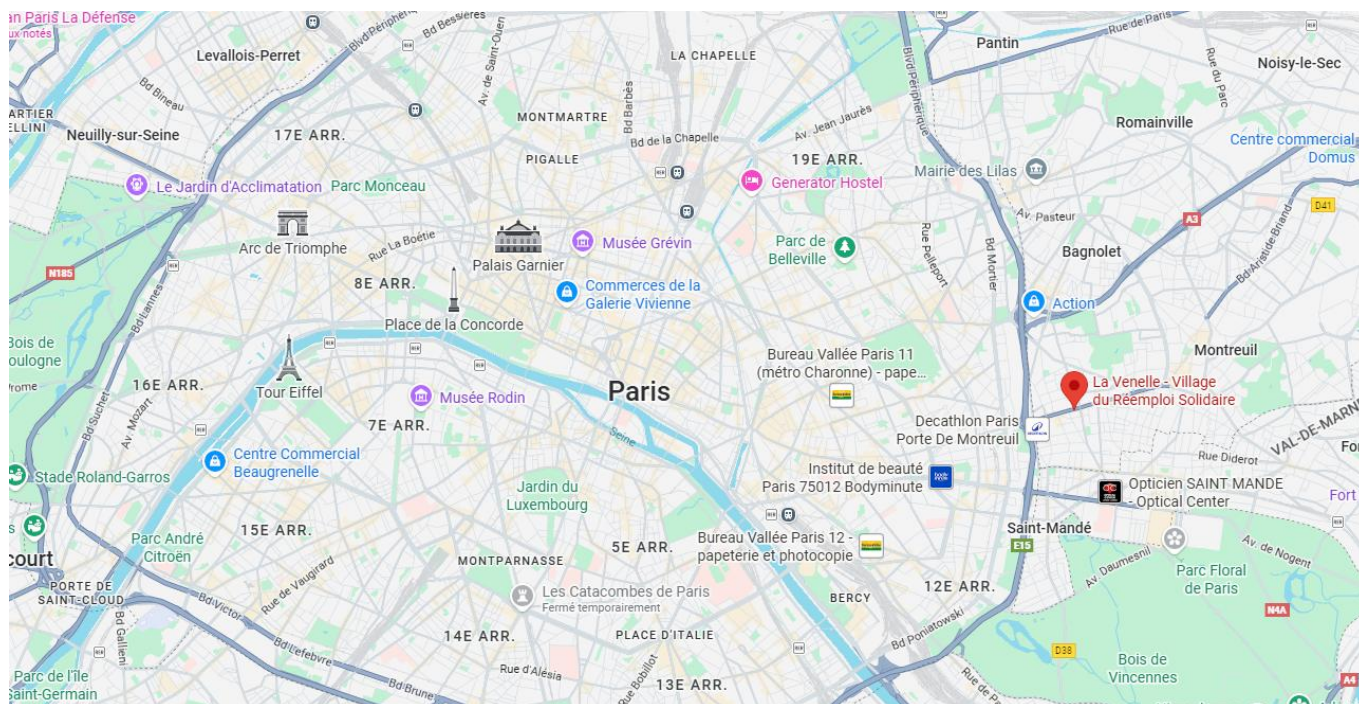
Project Overview

2025年9月、パリ郊外モントルイユに La Venelle – Village du Réemploi Solidaire（ラ・ヴネルー ソリダリティ 再利用ヴィレッジ）がオープンした。La Venelle は、リユースと社会的連帯を軸に据えた実験的なコミュニティ施設で、8つのリユースショップと食堂カフェを中核に、修理・再生のためのワークショップ、教育・啓発プログラムのためのスペース、さらには地域ネットワークの活動拠点やイベントが行われる共有空間などを内包している。廃棄物削減と社会包摂を同時に実現することを目的とし、建築そのものを「再利用の実践の場」として位置づけるプロジェクトとして注目を集めている。建築的には、新築に頼るのではなく、既存建築や仮設構造物、回収素材を最大限に活用して構成されている。木材、金属部材、窓、扉、家具など、多くの要素が解体現場や産業廃棄から回収され、再設計・再組立されているため、各棟は均質ではなく、それぞれが異なる表情を持つ。その結果、画一的な建築美ではなく、「使われてきた時間」を内包する独自の景観が生み出されている。敷地内は「村（Village）」という名称が示す通り、小規模な建築ユニットが路地（Venelle）状の動線によって緩やかにつながる構成となっている。中央の共有スペースや半屋外の中庭は、ワークショップやイベント、対話の場として機能し、建築が人と人との関係性を育む媒介となっている。そこでは、建築は消費の象徴ではなく、再生と連帯を支えるインフラとして再定義されており、持続可能な都市の未来像を示している。

Project Details

1. Brand: La Venelle
2. Type of Business: Social Reuse Village / Community Hub
3. Open Date: 09/2025
4. Location: 198 rue de Paris, 93100 Montreuil France
5. Size: 1800m2

Location Map





ファサード



施設内 1



施設内 2



施設内 3



施設内 4



施設内 5

2. Casa Loewe Montaigne

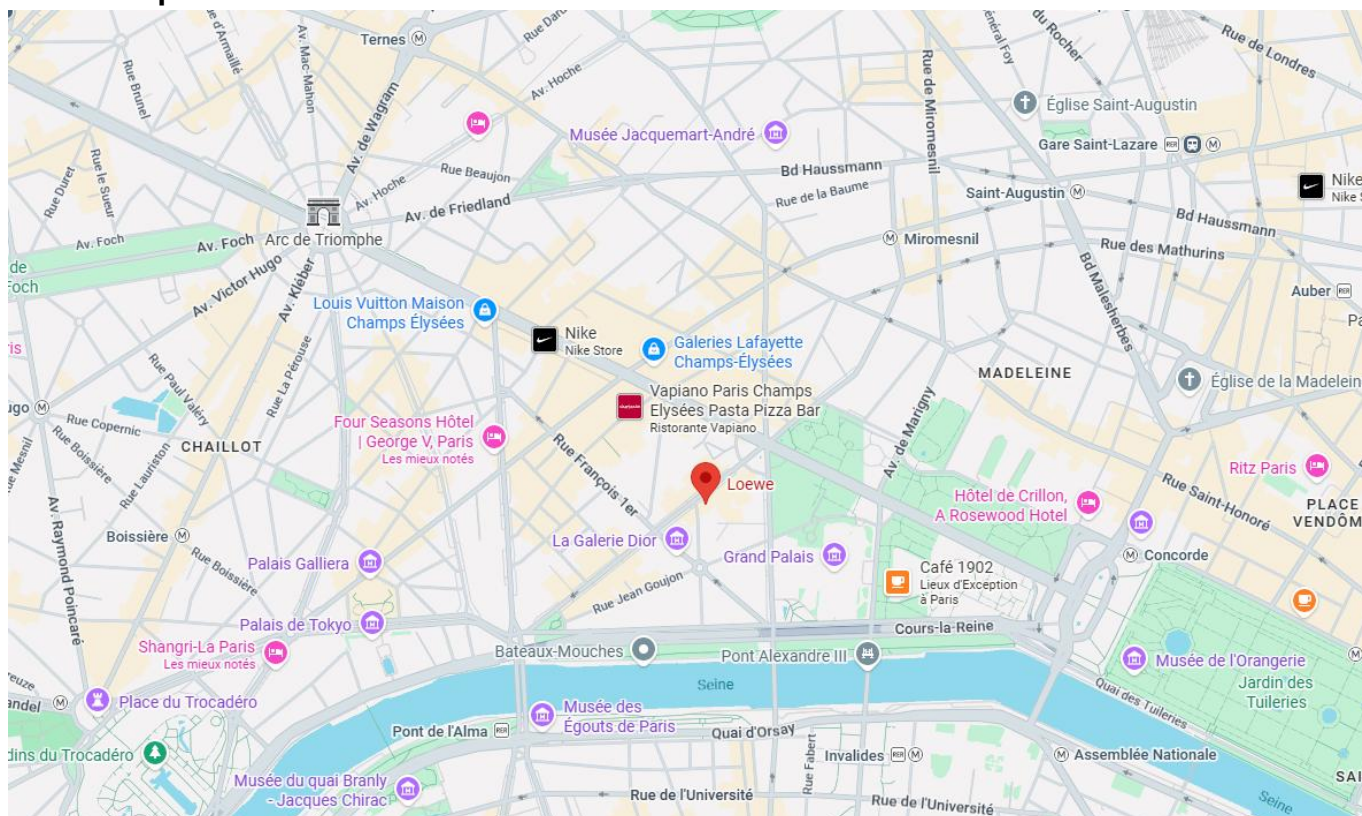
Project Overview

2025 年 11 月、パリの象徴的な高級ショッピングストリート、アベニュー・モンテーニュに、フランス初となる Casa Loewe がオープンした。ブランドのインハウスチームと建築家 Paula Aza Custodio 氏が手掛けた約 582 平方メートルの新旗艦店は、まるで「アートコレクターの邸宅」を訪れるようなデザインとなった。店内は緑・青・オレンジ・銀色のセラミックタイルが壁面を彩り、時間帯や自然光の変化によって表情を変えるほか、大理石や真鍮、鉄などの素材が有機的に対比し、光と質感の豊かな演出が施されている。さらに、ゲリット・トーマス・リエトフェルトのウトレヒトチェアやイサム・ノグチの照明、ジョージ・ナカシマの椅子など、20 世紀を代表するデザインの名作が空間に配置され、訪れる人に「美術館のような体験」を提供すると同時に、Loewe のクラフトマンシップと文化的蓄積を体現している。また、2025 年にはブランドのクリエイティブディレクターが交代し、アメリカ人デザインデュオ Jack McCollough 氏 と Lázaro Hernández 氏 が指揮を執った最初のコレクションがこの店舗で展開され、アート、デザイン、建築が一体となった Casa Loewe Montaigne は、パリという都市の文化的重層性を背景に、ブランドの新たな段階を象徴する場となっている。

Project Details

1. Brand: Loewe
2. Type of Business: Retail shop
3. Open Date: 11/2025
4. Location: 46-48 Avenue Montaigne, 75008 Paris France
5. Size: 582m2

Location Map





ファサード



店内 1



店內 2



店內 3